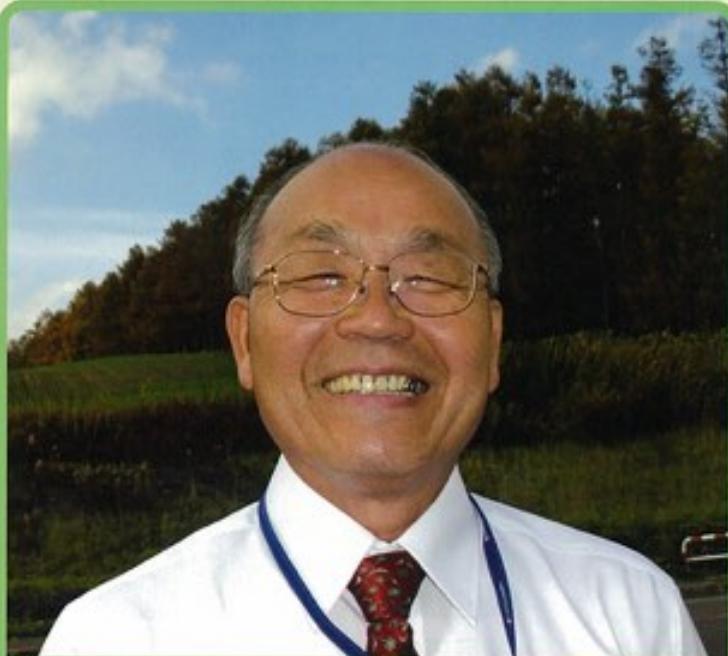


慈恵園だより

No.37

えがお

- 発行日／平成23年11月13日
- 発行所／芦別市旭町28番地
特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
- 発行責任者／川邊弘美
- 印刷所／㈱ワタナベ企画いんさつ



講師・豊重哲郎 館長 〈新城峠にて〉



第2回 まちづくり講演会



10月28日昨年に引き続き第2回目となる『まちづくり講演会』を開催しました。

この講演会は、市民の皆様とともに芦別市の未来を考え、自分たちで出来ることを見つけ実践することを目的として開催しています。今回のテーマは『感謝と感動のまちづくり』自立自興の芦別を目指して、やねだん in 芦別』と題し、講師に鹿児島県鹿屋市柳谷・通称「やねだん」の自治公民館長 豊重哲郎さんをお招きしました。

当日は市内外から約150名の参加があり、夜間の開催にもかかわらず盛況に終えることができました。この講演会を機に豊重館長の実践している自立自興の信念を学び、「何もない」と嘆くのではなく、「誰かがやるだろう」ではなく、自らの役割を自覚し『まちづくり』のために知恵を絞り、具体的にすべき事を提案し実行して行きたいと思います。

第一回まちづくり講演会を開催しました！

第2回まちづくり講演会『やねだん in 芦別』



講師の豊重哲郎さんは、自立自興を信念とし鹿児島県鹿屋市柳谷地区の自治公民館長をしておられます。柳谷地区、通称「やねだん」は住民300人の小さな集落で、今、地域再生で全国から最も注目されている地域です。それは、行政に頼らず自分達の集落の事は自分達の手で作ることを実践しているからです。そして、豊かな発想と創造力を活かし地域のリーダー育成に力を注ぎ『ふるさと創世塾』を主宰されています。

「一人でやるな百人でやれ」の言葉を基にリーダーは輝ける場所を他の人の為に用意することと一緒に汗を流す事が皆に信頼される事を信条としています。『ふるさと創世塾』で学んだ塾生は現在まで、九期生三百人になります。塾生のほとんどは各界をリードする方々で豊重さんの精神を実践し全国で活躍しています。慈恵園からもこれまで3名が入門しリーダーとして力を發揮しています。

今回の講演で豊重館長からは、誰とどこでスクラムを組むか、それは一番身近な人と組むしかない。その人は何を言わなくとも分かりあえる人である。

アイコンタクトを取りあえる人である。そして自らすぐ動く事であると、繰り返し話されていました。自主財源を作る事が大切で、自立自興の精神があれば手法はたくさんあります。私達はまず目の前にある自分の出来る事から始めることが、まちづくりの一歩という事を学びました。



野花南町内会
小田会長



旭町内会
西会長



清澤芦別市長

『民間社会福祉施設等職員海外研修・調査』に参加しました

スーパーバイザー 和田 直樹

9月10日から24日の15日間、民間社会福祉施設等職員海外研修・調査で北米、ニューヨーク、オーランドの行政、および高齢者の福祉施設等を見学してきました。全国から介護職員8名、生活相談員5名の13名(30~54歳)が参加しました。

アメリカ・ニューヨークのキーワードは「移民・多人種」それによる生活の違い等を理解してその人たちに合わせて物事を考えていく事が必要不可欠なのだと感じました。忙しくなってくると自分自身目の前の事だけにとらわれてしまいがちですが、これからは大きく物事を見ていける様、そして、アメリカで出会ったリーダーの様に情熱を持って多くの方と関わっていこうと思いました。

長期間の研修に参加させていただいた事に感謝して、学んできたことを今後の業務や研修などで役立てていきます。



評議員に川原美子氏

9月15日に新しい評議員として、川原美子氏が就任しました。

利用者家族代表として理事会にて選任されました。川原氏は黄金町で農業を営み、婦人団体や専門の農業の分野で活躍されています。これまでにも利用者家族として園の行事や家族交流会などに積極的に参加されています。これからよろしくお願ひします。

★トピックス★



10月21日被災地ボランティア出発式



4月19日からこれまで延べ64日間のボランティア活動を実施してきましたが、今回は10月22日から12月1日まで職員5名が交代で宮城県気仙沼市のデイサービスを支援することになり出発式を行いました。また約40日間宮城県石巻市で支援活動を行った職員が、芦別市立啓成中学校の総合学習で被災地でのボランティア活動を行った体験を話しました。生徒たちは「大変な思いをした人がいる事を実感した」「自分が出来る事を考えていくたい」と被災地の人を思う感想を話していました。

東日本大震災被災地 支援活動継続中です

『みんなで介護を考える会』

改修工事が完了しました！

7月1日、ふるさとユニットの改修工事が終わり、ショートステイの利用が始まっています。

「綺麗な部屋でゆっくり過ごせる」

「部屋毎にトイレがあって落ち着ける」などの声があり、ご家族も安心して利用できると好評です。

また8月1日、1階さくらユニットにリビングが出来ました。ゆったりしたスペースでお菓子作りなどして楽しんで寛げる場所となっています。



中野記念病院の古瀬勉院長を講師に迎え、「認知症の方の暮らしを地域で支えるために」をテーマに講演を行いました。様々な症例から認知症とその周辺症状についての説明があり、認知症の問題点は周辺症状にあり、治療の基本は本人の生活全般を支えることで、また介護者の負担を軽減することも重要。そのためにも事業所が頼りになる存在として重要であるとのお話がありました。講演後のグループ討議でも認知症の方を支えて行くために、各サービス事業所が連携を取り合っていことなど積極的に意見が述べられていました。

次回は来年2月19日に『市民講座』を予定しています。

講師・中野記念病院 古瀬勉院長



旭町町内会「お楽しみ会」に参加しました

なごみの丘、雪灯りなどでも交流のある本体特養の地元旭町町内会。歴史ある町内会館で『お楽しみ会』が行われ、施設長、事務長、栄養士でそば打ちをしました。園以外でのそば打ちは初めてでしたが、参加者の皆さんのおいしいとの言葉にホッとしました。町内会のおもてなしは、一人一人に対しての気遣いに始まり、畠でとれた野菜のご馳走、手作りそばゼリー、参加者代表の手品などもあり温もりの感じられる会でした。

新採用職員です!



ケアワーカー
田村 恵美

一日も早く皆様の名前を覚え、また私の事も覚えていただけるように日々頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。



えがお塾 楽しんでます！



6月から開講した脳の健康教室『えがお塾』も残り数回となりました。開講当初13名の学習者様ですが、評判良く!? 3名増え16名となりました。学習だけでなく毎回のハンドマッサージや手作りのおやつ、お漬物を食べながらのおしゃべりは尽きる事なく笑い声も絶えません。開講前は不安もあつた学習者様も今では「ここに来ると笑顔で元気になれるの」と週1回の参加を楽しみにされています。



『北村様を語る会』

8月29日約4年間、慈恵園で暮らされ永眠された北村さまのご家族と職員で語る会を開催しました。北村様の若い頃や家族旅行、園で撮影した写真を見ながら思い出を語り合い、お人柄を偲ぶひとときを過ごしました。改めてご家族の北村様を思う気持ちを感じ温かな気持ちになりました。園で出会った縁を大切に、これからもご利用者を思うご家族の心に寄り添いながらケアを行って行きます。



もみじの家

秋も深まり、もみじの家の「やまぼうし」も赤く実り、紅葉の中ご利用者と散歩すると、風は冷たいですが繋いだ手の温もりを感じられますね。

9月から10月にかけて『ご家族参観』を行いました。ご家族の皆さんのが感想や要望などを伺い、今後はより必要とされるサービスを提供できるよう気持ちを新たにしています。



デイサービス

★「星のふるさと大橋」を越えて両端の並木の紅葉がきれいな。朝車に乗ってから慈恵園までの景色が楽しみです。

★最近「家で出来るリハビリ」を教えてもらっているの。指で10かぞえるだけなんだけど、なかなかどうして難しいのよ。どうしても指がそろっちゃう。みんなで大笑いしながらやってる。悔しいから家で練習して見返してやるんだから！



かざぐるま

★サークルサボアやボランティアアトムの皆さんと作品作りをして、最近では膝掛けやクッション、テーブルセンターなどの大作にも挑戦しています。

★地域でお世話になっている方々との食事会を行いました。町内会役員、運営推進委員、ボランティアの皆さんのが参加され、かざぐるまの状況など報告しながら懇談のひととき。これからも地域とのつながりを大切にしていきます。

★地域食堂カフェかざぐるまでは第二金曜日が『手打ちそばの日』です。

今なら新そばを食べられますので是非おいで下さい。



「ウォーキングサークル」できました！



★おれが会長。10月から万歩計つけて歩いてるんだけど、1日3,000も歩いていない。昔米しゃって何キロも歩いたのに。くやしくてこないだ休みの時に8,000歩も歩いたら膝が痛くなったりよ

(笑) こないだは副会長（デイの相談員）と一緒に慈恵園の周りを3周した。全部で30分以上歩いたんだけど、久しぶりに「ああ、歩いたな」と感じがして楽しかった。一緒に歩く人がいるってのは楽しいもんなんだな。歩き終わったら副会長が足のマッサージしてくれる。「足キレイですね」なんておだてるんだよ。「そうか？」とか言ひながら、こっちもつい調子にのっちゃうんだよな。その後もカラオケしたり気分がいいよ。歩くと気が気持ちいいですよ。

★ウォーキングサークルの3人目だそうです。最近お腹が気になってきてね。運動しているんですよ。一生懸命歩いていたら誘われました。仲間がいるから私も頑張ろうって気になりますよ。写真はもう少しやせていい男になってからお願いしますね。





おでかけですよー!



大拍手～♪



ハンドマッサージ
気持ちいいネ！

なごみの丘 秋の花植え



ひろば



○昔は畠も馬で耕していましたけど、今は全部機械になったもんな。見たことあるか。うちにも昔馬がいたけどな。最近はもう見かけなくなったらなんだか寂しいよな。機械は速くて良いけどそれでもやっぱり馬は良いもんだ。



○小学校のころは体が弱くて学校に行けないことが多かったの。でも家で勉強してたのよ。そしたら先生に「計算が早いな、家で頑張っているからだな」と褒められたことがあった。嬉しかった。友達に「計算教えて」と言われたけど「私は先生じゃないから先生に聞いてちょうだい」って笑って答えたことがあったわよ。



○私の母親は妹を産んだ時に亡くなったの。3人姉妹だったけどみんな泣いたわ。そしたら近所のおばちゃんが「もう泣くのはやめなさい。泣いても母ちゃんは帰ってこないよ。ちゃんと仏さんの中からあんたたちのこと見守ってるから、泣き顔見せて母ちゃんに心配かけちゃだめだ」って言ってくれたんだ。昔は子供産んで亡くなる人が多かったからね。今は幸せな時代になったもんだ。

ご厚意ありがとうございます。

(平成23年6月～10月・敬称略)

▽寄付金

(芦別市) 堅田 哲、末永 公、
(富良野市) 一色 武松

▽寄付物品

(室蘭市) 山本マサ子
(芦別市) 目黒 義崇、西本 三平、
神田 弘亜、
株式会社アイカム

▽訪問・ボランティア

さくら、ふきのとう、
マーガレット、ミケ、
アトム、コロちゃん、
ともしび会、はまなす、
大正琴ゆりの会、
スマイル

配食サービス・イベント弁当「秋の味覚弁当」

栗おこわ、秋鮭、椎茸重ね煮など旬の味を楽しんでいた
だくイベント弁当は63世帯、117食の注文がありました。

厳しいご意見も嬉しい言葉も頂きました。次回ももっと美味しいお弁当に挑戦しますね。



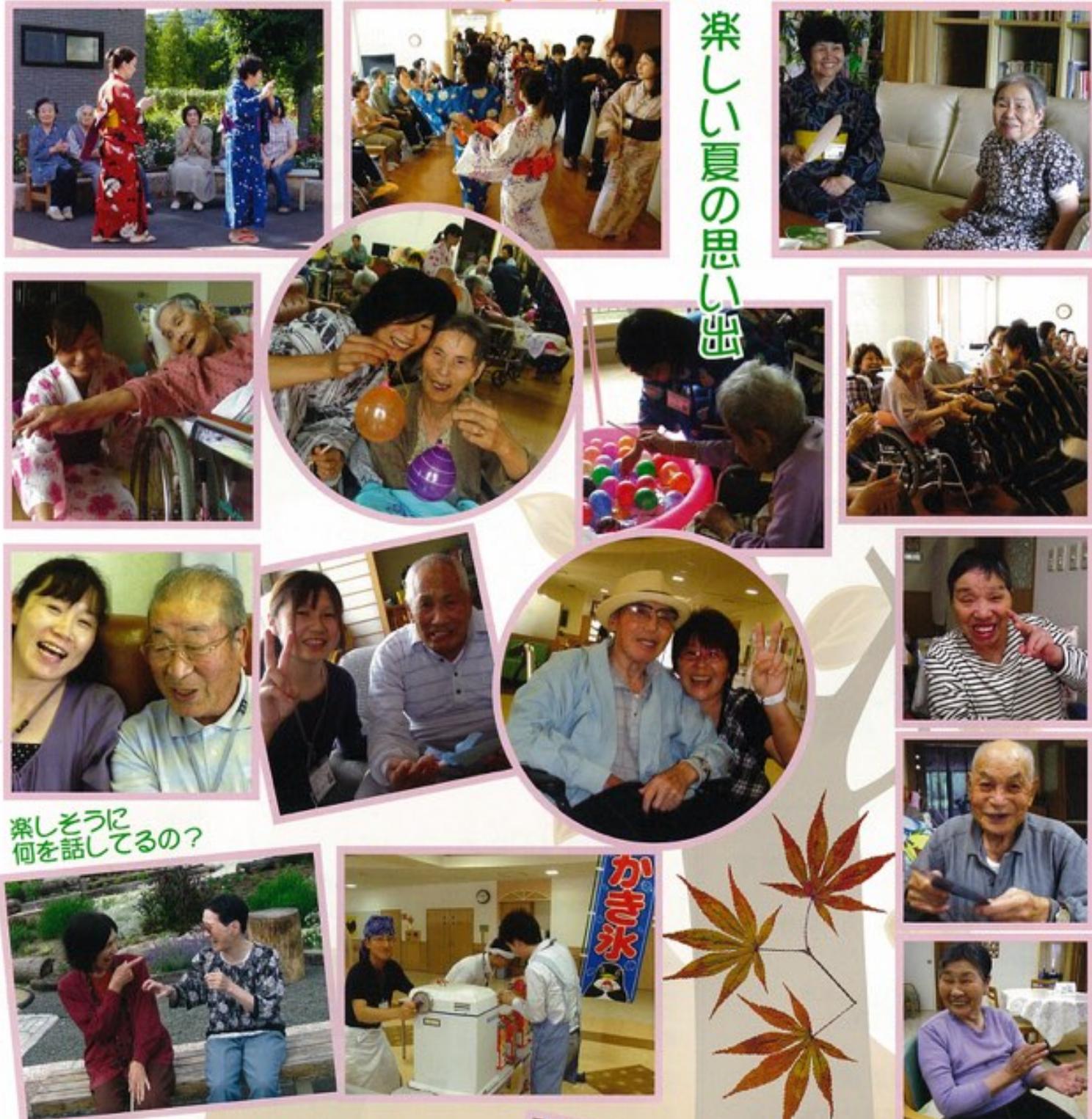
食べてみての 感想から…

- ・同じ材料でも自宅で作るのとは違う料理になっていて嬉しい
- ・栗が初物で75日長生きできます
- ・見た目が豪華でびっくりした
- ・あこわがもう少し固かったらよかった
- ・全体的に味が薄かったような…
- ・鮭はあまり手を加えず焼き魚でよかったです
- ・届けてくれる職員の笑顔が嬉しい



元気いっぱい！

楽しい夏の思い出



楽しそうに何を話してるの？

スタッフ★コラム

あっという間の夏から秋…
今年は「かき氷」が大人気でしたね。
30年以上昔のかき氷機が大活躍!!
当時、最先端も今では昭和の雰囲気が漂って懐かしいですね。
まだ20年は使えそう!
古い物も大切にしましょうね。

足湯中～いい湯だね